

食事改革でコスト削減

アース(静岡県清水市)は、特定施設や住宅型有老のほか、サ付き住宅や複合施設など幅広く介護事業を展開している。理念に「福祉・農・食」を掲げており、食事に強いこだわりを持つ一方、食事提供にかかる経費削減にも注力している。



アース 西山猛司専務

食事にこだわり 子会社で農業も

約400人いる利用者の食事に使用しているお米は、100%子会社のアースグリーンファームが生産した無農薬米を使用。おかずはフーズリンク(広島県尾道市)

が提供する真空調理済み食材クックバックを、またその食材を再加熱する調理機にはアイホー(愛知県豊川市)の「リヒートクッカー」を導入している。

提供可能なため、施設によって食事の味に差が出る



▲より良い食事提供について議論を重ねている

毎月会議実施 提供方法議論

また、同社では西山専務立ち合いのもと、各施設の食事担当者が集まり話し合う食事会議を毎月1回実施している。

会議では「同じ食事を提供しているのに残食率が異なるのはなぜか」、「提供方法に工夫が足りないのではな

調理済み食材活用



▲再加熱調理機「リヒートクッカー」の導入で業務効率向上

いか、「おかずを飯に乗せて丼ものとして提供すればほとんど現場の職員自らが考え、能動的に意見が上がってくるような組織作りをしたいのだという。

「現場から出た要望に對して、フーズリンクはすぐに改善対応をしてくれるので助かっています。今後も社員が意欲的に働けるものについては積極的に採り入れ、何事にも失敗を恐れずチャレンジできる環境作りを注力していきます。」(西山専務)

自動車のリース化提案

スケールメリット活かし

オリックス自動車



オリックス自動車 中村龍司氏



中古自動車リース業界最多の約100万台の自動車管理台数を誇るオリックス自動車(東京都港区)は、介護事業所で使用する自動車をリース化するのにかかるコストの大幅削減を提案している。

自動車リースは、長期に渡ってリース会社から

自動車を借り受け、利用する方法。

一般的な購入の場合、条件に合う自動車の選定やディーラーとの交渉など全てを自ら行わなければならないが、リースの場合条件に合う自動車の選定やディーラーとの交渉などは全てリース会社が受け持つため、コストや手間を大幅に省くことができる。

U-carリースプロジェクトの中村龍司氏は「当社が管理している自動車は100万台を超えており、これは全国で走っているタクシーの総数が約24万台と言われていることを考えると規模感が掴みやすいと思いま



▲インターネットで簡単に申し込み可能

ここで使用されているメンテナンスが行き届いた中古自動車も多数あるため、未使用車から中古車まで質の高い自動車を幅広く取り揃えている。自動車はインターネットから簡単に選んで申し込みができる。リース料金例として、2015年式の軽乗用車であれば月々1万6000円(税込)から導入可能。購入の場合と異なり月々の金額が一定のため支出の見通しがしやすいほか、リース料金には重量税や自賠責保険料なども含まれてい